



2026年3月
協和発酵バイオ株式会社

協和発酵バイオ、「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」認定を取得

協和発酵バイオ株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：深田浩司、以下 協和発酵バイオ）は、保険者と連携して特に優良な“健康経営”を実践している法人として 経済産業省と日本健康会議により、「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」の認定を受けました。

「健康経営優良法人制度」とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な“健康経営”を実践している法人を顕彰する制度です。協和発酵バイオは、この制度に6年連続で認定されています。

協和発酵バイオは、全ての従業員が能力を最大限に発揮できる環境を整備し、「個人のワークとライフの充実」と「会社の持続的な成長」を同時に達成することを目指しています。

また、キリングroupの一員として、CSV 経営の中長期アクションプラン「キリングroup CSV コミットメント」に基づき、重点課題の一つである「健康」について、柔軟な働き方を実現する制度や施策の推進、従業員のメンタルヘルスや生活習慣病予防への取り組み、お酒との付き合い方の啓発などに取り組んでいます。

今後も、“健康経営”の実現に向けて、キリングroupならではの強みを生かした「ヘルスサイエンス領域」を育成するとともに、お客様に「健康」をお届けする企業として従業員が積極的に健康づくりを行い、一人ひとりが明るくいいきと働ける環境や機会をつくっていきます。

協和発酵バイオは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。



※健康経営優良法人ロゴマーク（大規模法人部門）

「健康経営優良法人」に認定された法人は、大規模法人部門又は中小規模法人部門のうち認定された部門のロゴマークを使用して2026年度末（2027年3月31日）まで広報活動を展開することができます。